

第3回鶴川駅南口街づくり検討会《西側エリア》 会議要旨

日 時：2015年12月12日（土）15：00～16：50

場 所：和光大学ポプリホール鶴川 リハーサル室

出席者：13名（地権者：9名／その他：4名）

町田市：平本課長、加藤係長、船岡主事

パシフィックコンサルタンツ株式会社：桑山、村井、渡辺、近藤

【次第】

1. 個別ヒアリングの結果報告
2. 鶴川駅南口の交通環境について
3. 道路計画及び事業手法について

【決定事項】

- ・地権者アンケートと個別ヒアリングの結果、地権者全体の約80%の方々が事業を進めることについて理解を示されているため、事業を進めていくことに関して基本的な合意が得られたと判断します。
- ・市道203号線は道路拡幅を必要最小限とする意見が多く、生活道路整備事業で4m道路の整備を進めていきたい。

【議事】

1. 報告及び資料説明

（1）個別ヒアリングの結果報告

- ・現時点において、アンケートは地権者全体の約90%の方から回答があった。その後、地権者全体の約85%の方に個別ヒアリングを行った。結果として、地権者全体の約80%の方々が事業を進めることについて理解を示されているため、事業を進めていくことに関して基本的な合意が得られたと判断する。
- ・2016年度は、事業実施に向けた準備を進めていく。
- ・基本的な考え方として、東側エリアは区画整理、西側エリアは現道拡幅の道路事業、区画整理の都市計画区域外は生活道路整備事業で進めていきたい。

（2）前回検討会での質問について

①駅利用者アンケートでの踏切拡幅回答者の属性について

- ・踏切拡幅に関する回答者の移動手段や利用改札口、居住地、年齢など属性について分析した。
- ・アンケート回答者全体の約6割が踏切拡幅希望と回答しており、特にバイクを移動手段としている方や南口改札を利用している方が多い割合で希望している。

②鶴川駅南口の交通環境について

- ・「道路が整備されると抜け道になるのではないか、交通環境が良くなるのではないかな」とのご意見に対して、第22回検討会で説明した内容を基本として回答。

(3) 鶴川駅南口の道路計画について

○模型による整備イメージの共有

- ・模型は現況と将来イメージで、後者は計画の方向性に基づき、道路拡幅や駅前広場、建物を設けた。
- ・西側エリア、東側エリア A、東側エリア B の3つの区分に分けて、各々のエリアでいくつかのパターンを用意し、組み合わせを検討した。

○事業手法について

- ・西側エリアは土地区画整理事業によらない手法での整備を検討していたが、道路事業が基本ではあるが、土地区画整理事業を望む声も有り、東側エリアに入れるかなど調整していきたい。

【土地区画整理事業について】

- ・道路、公園、河川等の公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え宅地の利用増進を図る事業

【道路事業について】

- ・道路用地として必要な部分を取得して整備する事業。

○鶴川 203 号線整備について

- ・鶴川 203 号線の道路整備（2号踏切から大正橋までの区間）は、市として6m拡幅を提案してきたが、個別ヒアリングの結果、4m拡幅の「生活道路整備事業」で整備を前提とする。

○アクセス道路について

- ・新設の南口駅前広場に接続する駅アクセス道路は、真光寺長津田線から連絡するルートを検討していたが、新たに川井田人道橋から連絡するルートも検討していく。

2. 質疑応答・意見交換

(意見) 203号線は4m道路とするのか。

(市の考え) 203号線は生活道路整備事業により、4mの整備の意見が多い。

(意見) 踏切は2ヶ所とも拡幅するのか。

(市の考え) 現段階では2ヶ所とも踏切拡幅を行う方向で進めていきたい。

(意見) 西側は区画整理事業ではなく、道路事業で進めるという話ではなかったか。東側は区画整理事業でやむをえないが、西側は現在の環境や緑を保全する形で、まずは下水道整備を行うために、道路の整備をしていくということだったと思う。

(市の考え) 道路事業が前提ではあるが、個別ヒアリングの結果、土地利用を図

- りたいというご意見もあったので、東側エリアの区域に取り込むなど区画整理事業も整備手法の選択肢として残しておきたい。
- (意見) 静かな環境で暮らしたいと思っている人が多いと思う。区画整理は面的な整備となるので、多くの人に影響がでる。そこまでする必要はないのではないか。
- (市の考え) どこまでを区画整理にするのかという区域設定も重要となる。区画整理の場合と道路事業の場合で、各々どういう土地利用になるかなど具体的な検討も必要と考えている。
- (市の考え) 「ここは区画整理の必要はない」という意見もあるが、個別ヒアリング結果の中であった土地利用をもっと考えていきたいという方のために、区画整理事業の提案を行った。
- (意見) 203号線を4m道路にすることは決まったが、下水道整備はどうなったのか。
- (市の考え) 鶴見川の下流から下水道を整備することになる。しかし、少しでも早く整備するため、他のルートがないかも調査を進めている。
- (意見) 下水道だけ単独で整備することはできないのか。
- (市の考え) 区画整理や道路事業に合わせて行うのが前提である。
- (意見) 東側エリアは区画整理事業の手法になったのか。
- (市の考え) そうである。
- (意見) 保留地は出せるのか。出すには減歩率はどうなるのか。
- (市の考え) 駅北口と同様に保留地は出せないと思う。
- (意見) 東側エリアの区画整理事業主体はどこが担当で行うのか。
- (市の考え) 市施行を検討しているが民間で行う場合もある。
- (意見) ゼネコンや大手不動産に任せるという方法もあるのか。
- (市の考え) その方向もあるが、民間事業者包括委託方式も考えられないこともない。
- (意見) 東側エリアでゼネコンなどが入って高層の建物等が建ち、賑やかになり、西側は道路整備だけで何も変わらないとなると、取り残されたように感じ、区画整理をやっておけばよかったとなるかもしれない。もう少し全体像をとらえて考えたほうがよいのではないか。
- (市の考え) 皆様から意見は伺うが、最終的には市が判断する。この場に参加していない方の意見も伺っている。
- (市の考え) 南口駅前広場に連絡する道路として、これまで真光寺長津田線からのルートを検討してきたが、今回新たに川井田人道橋からのルートを提案した。
- (意見) 駅前広場から川井田人道橋を広げてバス通りとするのか。
- (市の考え) そうである。岡上地域の人も、川井田人道橋を車が通れるようになれば駅前広場にも行きやすくなる。また道路を整備することで通過交通が増えることが危惧される。ただ、目的地を駅前広場にしぼることで通過交通を抑えるという考え方をしている。
- (意見) 岡上の交番前の交差点は通りにくいのではないか。
- (市の考え) 岡上駐在所前交差点については川崎市側で整備をしてもらおうよう要

望している。

- (意見) 岡上の交番の交差点が改良されれば、都市計画道路が出来ないとしても、通りやすくなる。
- (意見) 川井田人道橋を車が通れるようになれば、2号踏切から南口駅前広場に連絡する主要生活道路2は6mの幅員が必要なのか。
- (市の考え) 主要生活道路2の幅員が4mでよいとの意見もあったが、防災面を考えると6mの幅員が必要と考えている。
- (意見) 4mあれば消防車は入れるのではないか。
- (市の考え) 消防車は入ることはできるが、4mだと他の車両が駐車していた場合には通行ができなくなる恐れがあり、6mだと駐車していても緊急車両は横を通ることができるので、最低でも6mは欲しい。
- (意見) 消防車が通りにくい2号踏切を通るとは考えにくい。
- (市の考え) 主要生活道路2が整備されれば、状況も変わり、防災面の可能性も広がる。
- (意見) 道路幅が最低でも6mないと、消防車がホースをひいて消火活動が十分にできない。4mだとホースを出すと救急隊の担架も運べない。線路と川で囲まれているという防火帯がない現状では、いったん火災が発生した場合、その中で延焼してしまう。広い道路は、延焼を止めるというメリットもあり、防災面でも安心である。あとは、広い道路をどこに通すかという話になる。
- (意見) 高齢者が多く、自宅を動かすことは大変なことである。なるべく負担のないようにしてほしい。
- (市の考え) 2016年度の検討は道路の位置や幅員を決めるなど各論の話となる。

3. その他

- ・次回は、東側エリア、西側エリア同時開催で、日時は2月27日(土)を予定している。

以上